

# 千年の森便り No.124

2014.1.24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

1月19日(日) 初雪 快晴

「大学入試センター試験の1月第3日曜日は雪」とのジンクス通り未明からの雪、凍結した道を通り、新井通子、伊藤、苅米、坂本、根本、福島、松田、真鍋、村野会員は無事到着。久我夫妻と山口会員は雪道で行く手を阻まれ途中で引き返し、到着した9名で山積みの作業に取り組みました。先ず祠山で年初恒例の安全祈願の後、伐採樹木の枝払い・玉切り・片づけに汗を流し、巨木林の成長量調査、野鳥調査も行いました。この日の作業で、2月-3月の作業が予定通り出来る見通しがつきました。凍てつく雪道を越えて参加の皆さん、途中で引き返した方を含め、寒い中お疲れ様でした。(真鍋)



雪の豊英島には先客が、ハクビシン?



祠山で年初恒例の安全祈願



伐採木には雪の薄化粧

### ○伐採樹木の枝払い・玉切り作業

11月、12月に伐採した樹木の枝払い、玉切りに取り組んだ。太いものはログベンチ等の材料とすべく1.5mで、ホダ木適寸のコナラは90cmで玉切りを行い、膨大な枝葉は崖の肩に積み上げ安全柵とした。午前、午後と安全を第一としつつたっぷり汗をかいた結果、シイタケホダ木166本を作成し井桁3つに積み上げた。



太い木は木工用に玉切り-



一輪車で運び出し



担いで運ぶ人もいて



碧く澄んだ冬空に梢は輝き



ホダ木166本を井桁積み



山積みの仕事片付き満足の顔々

3月活動日には、シイタケ、ヒラタケの種ゴマを打つ予定なのでお楽しみに。なお、現場にはまだ太いものが転がっているので適当な場所に集材し、シカ食害防護柵を設置する予定である。今後「多様な樹種からなる

「落葉広葉樹林」に誘導する方針であるが、どの樹種を優先するかなど具体的な実施内容は実態を踏まえつつ合意を得たい。モニタリングなどに積極的な参加をお願いしたい。

また、竹ベンチの次を担うログベンチの試作品が目をひく。楽しみである。（伊藤）

### ○巨木林生長量調査

昼食のあと、巨木林の成長調査を行いました。

調査は、巨木林の食害防護柵 20m×20mの中にある、胸高（高さ 1.2m）の幹周りが6cm以上の個体67本について幹周りを測定するというものです。調査開始から5年が経過し、番号が読めなくなったり測定位置がわからなくなった個体もあり、番号や印を付けながら約1時間で測定を終えました。後日、5年間の調査結果をまとめたいと思います。（福島）



5年目の胸高周囲長測定

### ○野鳥の記録

昨シーズンは冬の渡り鳥が多くて色々楽しみましたが、この冬は様変わりです。1月の記録（メモの順）カワウ2 ヒヨドリ3+声 ヤマガラ 1+声 メジロ2+声 オシドリ8+声 ハシブトガラス1+声 ハシボソガラス声 コゲラ声 シジュウカラ声 エナガ 10+ トビ2+声 キジバト1 ウグイス声 以上13種（坂本）



カワウ(1/19 福島)

### リスの古巣

千年広場から禁断岬に向かう途中でリスの古巣が落ちていたのを発見しました。洗面器に一杯になるほどの大きさで、主な巣材はスギの皮を細かく裂いて柔らかくしたものでした。ふかふかして温かそうですから、誰かがマフラーにしたいと言っていました。その通りだと思いました。写真は巣がはっきり分かるように、拾い上げて木の上に乗せて写していますので、実際の状況とは異なります。（坂本）



リスの古巣

### お知らせ

#### ○2月活動日：2月16日(日曜日)

光環境調査、伐採地整備（玉切り・枝落とし・運搬）の続き、シカ食害防止柵設置、マダケ調査、野鳥調査などを行います。厳寒の時期ですが、オニシバリの花やミヤマシキミの赤い実などが目をひく時期になります。シイタケやナメコも期待できるかも。参加をお待ちしています。集合は通常通り9時30分、県民の森駐車場。

この日里山カレッジ体験実習のため、袖ヶ浦の赤松義男さんが参加されます。宜しくお願いします。

#### ○3月活動日：3月16日(日曜日)

ニホンジカ生息状況調査、シイタケ・ヒラタケ植菌、食害調査、植物調査、野鳥調査など行います。マメザクラやウグイスカグラが開花し、ヒメフタバランやスハマソウも咲き始めます。多くの会員の参加をお待ちしています。

○森林研究所の成果発表会 12月号に既報の通り、2月13日（木）午後 山武市さんぶの森文化ホールで開催される発表会は、興味深い有益な発表です。都合のつく方は是非ご参加下さい。



一般財団法人  
セブン・イレブン記念財団

この活動は、一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けています